

## Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り



第9号 (2018年5月10日発行)

今月はJOA理事会、総会が行われます。総会同日には各種目の世界選手権代表壮行会も行われますので、ぜひご参加ください。

### ●本号の内容

- ・理事会、総会予告
- ・本年度の事業方針等の紹介
- ・アジア各国のWRE（世界ランキング大会）に積極的にご参加を
- ・公認大会に救護用品の貸し出しを行います
- ・欧州トレイルオリエンテーリング選手権大会 ETOC 報告
- ・2020年世界トレイルオリエンテーリング選手権大会 WTOC に向けて
- ・ナビゲーションインストラクターと今後の予定

### ●理事会、総会予告

理事会：5月12日(土) 立正大学品川キャンパス

以下に示す総会に向けての事業報告、決算についての議論を行うほか、委員会の新任委員の任命、規則の改定、その他重要な処務についての議論を行います。

総会：5月26日(土) 海洋大越中島キャンパス

平成29年度の事業報告、決算についての審議が行われるほか、JOAの事業の現状についての報告があります。また午後にはこの夏に開催される各種目の世界選手権代表壮行会が開催されます。

年1回、社員がJOAの運営に参加する機会です。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。

### ●本年度の事業方針等の紹介（副会長：村越）

平成30年度の(公社)日本オリエンテーリング協会の事業計画が2月の理事会で承認されました。その詳細については、JOAウェブに掲載してあります。ここでは、特に冒頭に示されている事業方針についてご紹介します。この事業方針は、2019年度の事業計画ではじめて記載されるようになったもので、事業計画書の各事業を貫くJOAの事業に対する基本的な考え方を示したものです。

前段に現状認識があり、後段に対応した事業方針が示されています。総会等での議論の足がかりとなれば幸いです。

<以下、平成30年度事業方針>

オリエンテーリング導入以来50年が経過し、誰でも取り組めるゲーム性の高い野外スポーツとして、オリエンテーリングは日本のアウトドアスポーツの中に根付いた。競技スポーツとしても世界選手権等の国際大会に恒常的に参加するだけでなく、フットO、スキーOおよびトレイルOの世界選手権やアジア選手権の開催など、国際的なオリエンテーリング界へも貢献してきた。

また、黎明期より諸外国からも高い評価を得た大会運営能力やナビゲーションスキルの指導力を蓄積した。これは、ナビゲーションスポーツやトレイルランニングの普及にも寄与すると同時に、アウトドアの安全にも資している。一方で、競技人口の停滞や高齢化、競技力の向上が頭打ちになっている現状も指摘できる。組織においては、平成 28 年度に実施した財政改革によって、法人の運営は健全化の兆しが見えるが、財政安定化への努力は依然必要である。

以上の現状認識を踏まえ、安定した財政基盤を確立するとともに、その成果を会員・オリエンテーリング競技者へ還元し、以てオリエンテーリングの活性化を進める。普及指導においては、野外活動指導者として位置づけられてきた指導員制度を抜本的に見直し、競技の発展に寄与するとともに、一般への指導方法を確立し、オリエンテーリングはもとより、アウトドアスポーツの健全かつ魅力的な発展に寄与する。また、時代にあった普及方法の探求を継続する。競技会開催においては、魅力ある主催大会・公認大会を増やすための戦略的な活動を行う。競技力向上に関しては、これまで同様国際競技会に恒常的に出場するとともに、トップ層とその下の層の有機的な相互刺激に基づく全体的なレベルアップを図る。予定されている国際大会を円滑に開催すると同時に、それを以て普及発展に資する。

●アジア各国の WRE（世界ランキング大会）に積極的にご参加を（理事：茅野）

5 月 4 日の根の上高原つつじ祭り大会（岐阜）に続き、6 月 3 日の東大 OLK 大会（群馬）も WRE（世界ランキング大会）として開催されます。

下記のとおり、アジア各国で WRE (Foot-O) が開催されますので、エリート選手のみならず、幅広い選手層の積極的なご参加を期待します。

5 月 12 日：マレーシア

10 月 13 日：台湾（金門島）

12 月 22 日～27 日：香港（アジアオリエンテーリング選手権大会）

12 月 27 日～29 日：香港選手権大会

（参考）この他、WRE ではありませんが、10 月下旬に中国（北京）で O-Week があります。

●公認大会に救護用品の貸し出しを行います

JOA 公認大会を主催、主管される皆様へ。この度、公認大会サポートサービスの一環として、大会当日に使用する救護用品を貸し出すことが可能になりました。

通常のオリエンテーリング大会で良く起こるけがなどに対処するための基本的な救護用品類を揃えています。（ただし AED、テント、ポリタンク、毛布などの大型備品は含まれていません。）救急対応のマニュアルもセットされています。

使用料は基本的に無料とし、使用したものの補充は JOA 事務局にて行います。（ただし大量に使用されたときなど、補充分を請求するか同等のものを補充していただく場合があります。）

受け渡しと送料については、JOA の担当者が大会に参加する場合には無料で持ち込みますが、それ以外の場合は大会主催者に往復送料の負担をお願いします。

申し込みにつきましては、公認大会の申請時にご案内をいたしますが、随時事務局までお問い合わせください。

●欧州トレイルオリエンテーリング選手権大会 ETOC 報告（理事：茅野）

2018年4月27日-5月1日にスロバキアで開催された欧州トレイルオリエンテーリング選手権大会に、以下の選手が競技力強化の目的で参加しました。

オープンクラス：木村治雄、田代雅之、伴毅、松橋徳敏、茅野耕治

ヨーロッパ選手権は、世界選手権と比べて参加人数枠が2倍あり、競技会の機会が少ない日本人選手にとって、絶好のトレーニングチャンスとなりました。

トレイルOでも今年から世界ランキング制度が始まり、参加した選手は、ポイントを獲得することができました。

（参考）今年の世界トレイルオリエンテーリング選手権大会 WTOC は、ラトビアの Daugavpils で、8月4日から開催されます。（開催地は異なりますが、Foot-O と同時開催です）

●2020年世界トレイルオリエンテーリング選手権大会 WTOC に向けて（理事：茅野）

2020年の世界トレイルオリエンテーリング選手権大会は、11月か12月に香港で開催されます。既にその準備が始まっており、以下の大会が予定されています。

2018年12月2日（予定）：香港選手権大会（PreO）

12月9日（予定）：香港選手権大会（TempO）

2019年11月か12月（予定）：アジアトレイルオリエンテーリング選手権大会 AsTOC（香港）

（参考）この他、今年11月11日（予定）には、トレイルO韓国選手権（大邱）が予定されています。また、2020年のWTOCでは、JOA 茅野理事がアシスタント・イベント・アドバイザー(AEA)として、IOFから指名されています。

●ナビゲーションインストラクターと今後の予定（副会長：村越）

事業方針にもあるように、オリエンテーリングは黎明期より日本におけるアウトドアでのナビゲーションスキルの普及において重要な役割を果たしてきました。現在日本の山岳遭難は漸増傾向が問題となっていますが、その40%は道迷いが占めています。このため山岳界ではナビゲーション技術へのニーズが高まっています。また、ロゲイニングやマウンテンマラソンは、トレイルランニングなど周辺活動者のナビゲーションスポーツへの導入の機会となっており、ナビゲーションスキルの習得への意識が高まっています。

これらの状況を鑑み、JOAでは一般へのナビゲーションスキルを指導できる指導者養成の枠組みを山岳関係有識者と意見交換しながら、ここ数年進めてきました。そして、本年度より、指導者講習会および一般活動者のナビゲーションスキル認定の制度を立ち上げました。詳細については総会等でお知らせしますが、オリエンテーリングの指導者については免除規定も設けておりますので、ぜひこの指導者資格に参画し、アウトドアナビゲーションの普及、それを通してのアウトドアの安全促進やオリエンテーリングの普及に役立てていただくことを期待しています。

第1回目の養成講座を2018年6月30-7月1日（土・日）に埼玉県飯能市で開催します。

登山の事故防止やナビゲーションスキルの普及に関心ある方の受講をお待ちしています。定員が15名と少数になっています。また事前に書類審査がございますのでご注意ください。

詳細は下記のURLからご覧ください。

[http://www.orienteering.or.jp/archives/2018/0426\\_post-117.php](http://www.orienteering.or.jp/archives/2018/0426_post-117.php)

## ナビゲーションインストラクター概要

- 山岳遭難の40%を道迷い遭難が占め、その減少は登山界喫緊の課題
- 様々な講習が増え、受講希望者も多いが、スタンダード化されておらず、講習は玉石混淆。地図の読み方やコンパスの使い方についても体系的なものがひろがっていない。
- 広がりつつある「山のグレーディング」では、ナビゲーションの視点からも登山道がグレード化されているが、必要なスキルは明確になっていない。
- 地図を通した山への新たな視点と楽しみが見いだされつつある

対象: ナビゲーション・読図の指導に興味を持ち、本認証の趣旨に賛同したもの。オリエンテーリング指導者、山岳ガイド、登山指導者、野外活動センター職員、青少年教育指導者(ボーイスカウト等)、野外教育専門学校等、大学クラブ・高校部活動指導者等

ナビゲーション  
インストラクター

養成・認証

JOA

認定

安全に登山をしたい、地図読みを楽しみたい一般登山者・アウトドア活動者

ナビゲーションインストラクター認定と、ナビゲーションスキルの認定により・・・

- ①アウトドア活動に必要なナビゲーションスキルをスタンダード化・普及することでアウトドアの安全に貢献。
- ②アウトドアの楽しみを多様化し、習得の達成感を提供することで、アウトドア文化の形成の一助となる。
- ③アウトドアスポーツにおけるオリエンテーリングの社会的評価の確立
- ④個人およびオリエンテーリング界に蓄積されたナビゲーションスキルの有効な活用
- ⑤オリエンテーリングの普及の一助